

営業減益だが、固定資産売却益により最終増益

決算サマリー

日新商事(以下、同社)は5月12日に2025/3期の通期決算を発表した。連結ベースの主要数値は、売上高39,035百万円(前同比0.8%増)、営業利益385百万円(同24.0%減)、経常利益557百万円(同26.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)615百万円(同107.1%増)となった。当期純利益が大幅増益となったのは、かつての子会社の遊休土地の売却益687百万円の計上が要因となっている。1株当たり年間配当金は25円で直前予想の20円から5円増配となった。

■ セグメント別概要

石油関連事業では、燃料油の販売数量が堅調に推移したこと等により、売上高は前期比0.5%増の35,428百万円、セグメント利益は直営部門での利益率縮小により、同4.9%減の625百万円となった。再生可能エネルギー関連事業については、バイオマス発電燃料のPKSの販売が増加したこと等により、売上高は同4.6%増の2,968百万円となった。なお、バイオマス投資関連の費用計上等により、96百万円のセグメント損失を計上した。

■ バイオマス発電燃料の生産設備が稼働

同社はマレーシアでのバイオマス燃料の自社生産の準備を進めてきた。今年5月に生産設備の稼働が開始された。

■ 株式会社日新のMBOに伴い、2026/3期の投資有価証券売却益を計上予定

5月12日、同社の源流企業である関連会社の株式会社日新(国際物流大手、東証プライム上場、コード:9066、以下「日新」)がMBOの実施を公表した。同社は日新の第3位株主であり、このMBOに伴い、2026/3期に投資有価証券売却益5,078百万円を特別利益に計上する予定(下表の2026/3期会社予想には反映されていない)。SIRでは今後取材後にフォローアップレポートを発行する予定である。

決算期	売上高 (百万円)	YoY (%)	営業利益 (百万円)	YoY (%)	経常利益 (百万円)	YoY (%)	当期純利益 (百万円)	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2022/3期	36,466	--	428	-39.0	675	-22.5	490	-63.2	73.34	20.0
2023/3期	38,897	6.7	640	49.7	953	41.3	287	-41.5	42.96	21.0
2024/3期	38,732	-0.4	507	-20.9	752	-21.0	297	3.6	44.50	21.0
2025/3期	39,035	0.8	385	-24.0	557	-26.0	615	107.1	92.18	25.0
2026/3期(会予)	42,500	8.9	400	3.9	600	7.8	300	-51.3	44.93	21.0

出所: 決算発表資料よりSIR作成 注1: 2022/3期以降の売上高は、収益認識基準適用後の数値。
注2: 2026/3期(会社予想)には、株式会社日新のMBOに伴う投資有価証券売却益を織り込んでいない。
注3: SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

Q4 Flash
News flash

nissin shoji

every day is a new day.

アナリスト 大下 敬勇

research@sessapartners.co.jp

本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレマーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp